

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2003-344997(P2003-344997A)

【公開日】平成15年12月3日(2003.12.3)

【出願番号】特願2003-125528(P2003-125528)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

C 0 9 B 23/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/032 (2006.01)

G 0 3 F 7/09 (2006.01)

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/004 5 0 3 Z

C 0 9 B 23/00 L

C 0 9 K 3/00 1 0 5

G 0 3 F 7/027 5 0 2

G 0 3 F 7/032

G 0 3 F 7/09 5 0 1

G 0 3 F 7/11 5 0 1

G 0 3 F 7/00 5 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月7日(2006.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フリーラジカル重合可能であり且つ少なくとも2個のアクリレートおよび／もしくはメタクリレート基並びに少なくとも1個の光酸化可能な基を有するアクリレートもしくはメタクリレート単量体および／またはオリゴマー、光開始剤、赤外線吸収染料並びに無機重合体結合剤を含有する放射線感受性混合物であって、赤外線吸収染料がヘプタメチンシアニン染料である混合物。

【請求項2】

染料の主メチン鎖中の3個のメチン炭素原子が5員～7員の同素環式または複素環式環の一部である請求項1に記載の混合物。

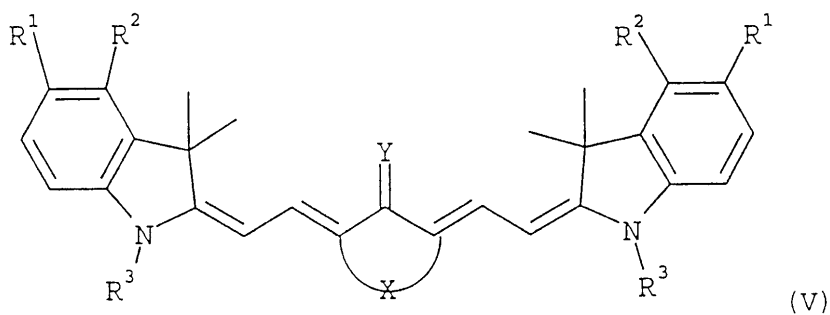
【請求項3】

ヘプタメチンシアニン染料中の2個の芳香族末端基が、場合により少なくとも1個の別の環が縮合されていてもよいインドールおよび／またはインドリウム基である請求項1に記載の混合物。

【請求項4】

ヘプタメチンシアニン染料が式V

【化1】



[式中、

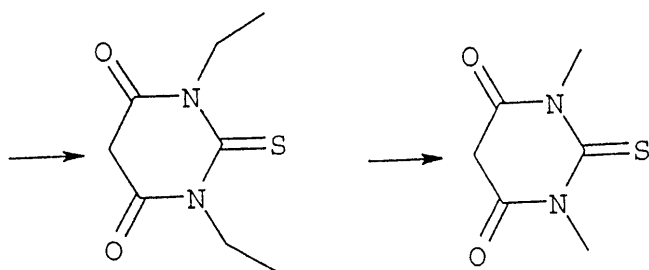
$R^1 = R^2 = H$ であるか或いは R^1 および R^2 は一緒になって $-CH=CH-CH=CH-$ を示し、 R^1 は R^2 と一緒になって 6-員の縮合環を形成し、

R^3 はメチル、エチル、プロピルまたはブチルを示し、

X は $-(CH_2)_3-$ または $-(CH_2)_2-$ を示し、

Y は

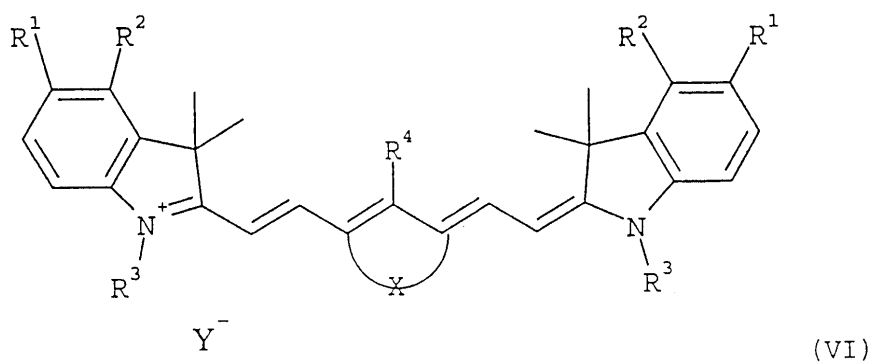
【化 2】



を示す]、

または式 VI

【化 3】



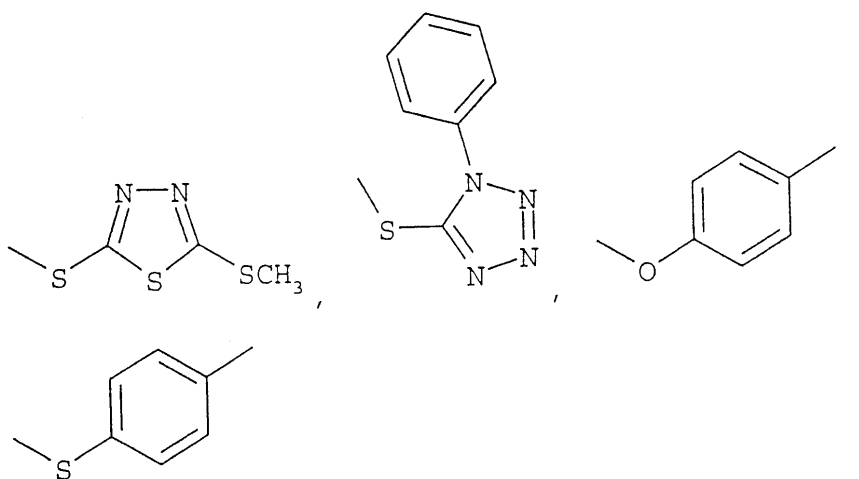
[式中、

$R^1 = R^2 = H$ であるか或いは R^1 および R^2 は一緒になって $-CH=CH-CH=CH-$ を示し、 R^1 は R^2 と一緒になって 6-員の縮合環を形成し、

R^3 はメチル、エチル、プロピルまたはブチルであり、

$R^4 = H, Cl$ 、

【化 4】



であり、

$X = -(\text{CH}_2)_3-$ または $-(\text{CH}_2)_2-$ であり、

$Y = \text{Br}^-$ 、 Cl^- 、 I^- 、 pTosO^- 、 ClO_4^- 、 BF_4^- または PF_6^- である]

に相当する請求項 1 に記載の混合物。

【請求項 5】

ヘプタメチンシアニン染料の量が、各場合とも混合物の非揮発性成分の合計重量を基準として、0.01～10重量%、好ましくは0.5～8.0重量%である請求項 1～4 のいずれかに記載の混合物。